

ROTOBO

Connecting Markets

## ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)2月5日号 No.1981

## 目次

■ 極東中古車ビジネスのこの1年と今後	1
■ 統計速報	9
2024年1～9月のロシアの主要経済指標／9	
■ キーパーソン	13
ベラルーシ ルカシェンコ大統領が7選／13	
■ エトセトラ	13
日本アルメニア投資環境整備ネットワーク開設のご案内／13	
■ トピックス	14
日系企業、チェルノブイリ原発で放射性廃棄物の回収・処理施設を設計・供給／14	
英加、ベラルーシに追加制裁／14	
蘭INGバンク、ロシアから撤退／14	

## 極東中古車ビジネスのこの1年と今後

(一社) ROTOBO ロシアNIS経済研究所  
部長 齋藤 大輔

## はじめに

ロシアがウクライナに侵攻してから今月で丸3年が経過する。米欧の制裁強化にもかかわらず、ロシア経済はプラス成長を堅持し、プーチン政権は戦争継続の強気の姿勢を示している。この3年間で、日本からロシアへの自動車輸出は激変した。新車の輸出がストップする一方、中古車の輸出は日本の対口輸出の6割を占めるまでになっている。私は2024年12月、ウラジオストクを1年ぶりに訪れた。その時の印象とともに、中古乗用車の対口輸出のこの1年を振り返り、今後を展望してみたい。

## 1. 2024年の中古車対口輸出

2024年の中古乗用車のロシア向け輸出台数は前年より減少したものの、約20万台となった。日本政府の輸出規制強化にもかかわらず、なぜ、ロシア極東の日本製中古車ビジネスは壊れないどころか、高い水準を実現しているのか。当初、日本からロシアへの中古乗用車の輸出は制裁強化で、半分程度に落ち込むとみられた。それが前年並みを確保するどころか、第3国経由で入っている分も含めれば、ロシアに持ち込まれている中古乗用車の数はむしろ増えている可能性がある。へこたれないロシア極東の中古車ビジネス。制裁強化でもロシアで日本の中古車の売れ行きが伸びるという